

現地調査における調査項目・基準と現地調査結果を踏まえた利活用方法の検討

(株式会社ゼンリン) 交付額：約9,856千円

【事業の概要】

茨城県筑西市内の2,700棟の現地調査結果の分析等を行い、以下を作成

- ① 予算や目的に合わせて選択できるよう、調査制度に応じて3パターンの空き家調査票
- ② 調査者の主観によるばらつきをなくすため、程度判断を写真で例示した参考事例集
- ③ 現地調査結果を踏まえ、市場性(立地等)などを踏まえた利活用可能性の検討に関する報告書

① 現地調査における空き家調査票

② 程度判断のための参考事例集



目視の判断で迷う事例を写真で解説



	パターンA	パターンB	パターンC
網羅性※1	小	中	高
調査時間※2	57秒	70秒	104秒
項目数	5~8	8~12	15~26

※1 空き家をとり漏らし無く判別する確度

※2 実際の調査では、写真撮影や移動時間が追加される

その他の取組・成果

空き家の利活用可能性の分類手法、事例等を踏まえた空き家の利活用方法をとりまとめ。

<分類の着目意点>

- ・物的状況(不良度)
- ・市場性(立地条件 等)